

茨城県 高校入試情報

令和7年度茨城県入試の全体傾向

●令和7年度入試の大問構成

- 大問1 表現・言語事項
大問2 小説 砥上裕将「一線の湖」
大問3 論説文・話し合い 今野真二「日本語と漢字—正書法がないことばの歴史」
大問3 論説文・話し合い 石川九楊「ひらがなの世界—文字が生む美意識」
大問4 古文・漢文・話し合い 「枕草子」
大問4 古文・漢文・話し合い 「和漢朗詠集」

例年どおり大問4題の構成。熟語・文法・文学史など幅広い分野から出題されている。また、文章・ノート・会話文などの資料を組み合わせた問題が多いのは、近年の傾向である。

★茨城県の入試は、『国語の新研究』でバッチリ！

■記号選択問題の対策

記述問題が少なく記号選択問題が多いのが、本県の特徴である。紛らわしい選択肢に惑わされないためには、文章の内容を正確に読み取ることが重要である。速く的確に解答を選択できる力を身につけたい。

新研究で対策！

- 巻頭特集「国語のキホン」(p. 2～5)や、ウォームアップ特集「記号選択・記述問題のキホン」(p. 26～27)では、記号選択問題の解き方・考え方を、一から丁寧に解説しています。

■複数資料の読み取り問題の対策

授業で読んだ文章と、それに基づいて調べた文章と、その内容について話し合う場面からの出題があった。このように、複数の情報を組み合わせた形式が各大問でなされた。資料を関連づけて読み取る問題に慣れておきたい。

新研究で対策！

- 「26 グラフ・図表を読み取ろう」(p. 136～139)や、「30 特別単元 複数の情報を読み取ろう」(p. 154～157)で、ポイントの確認と問題練習ができます。
●入試実戦講座⑪「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p. 184～185)で、近年増加傾向の活用問題の特集しています。

令和7年度茨城県入試では、書写の知識を問う問題が出題されました。楷書体と行書体の違いや特徴をおさえておきましょう！



★茨城県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	漢語 字句	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう			●	●
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう			●	●
		展開をとらえよう	●		●	●
		心情をとらえよう	●	●	●	
		行動の理由・人物像をとらえよう	●	●		●
		文章中の表現を味わおう	●	●		●
		話題・情報をとらえよう	●	●	●	
		指示語・接続語をとらえよう	●	●	●	
		文章を解釈しよう	●	●		●
		理由をとらえよう	●		●	●
		段落構成をとらえよう				
		要旨をとらえよう	●	●		
		古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう	●	●	●
	古文の会話・主語をとらえよう		●			●
	古文の展開をとらえよう		●	●	●	●
	漢文・漢詩を味わおう			●	●	●
	詩歌	詩・短歌を味わおう			●	
		和歌・俳句を味わおう				
	文法	文の組み立てを知ろう				
		自立語を学ぼう				
		付属語を学ぼう				●
	表現・情報	敬語を使いこなそう			●	●
		グラフ・図表をとらえよう				
		話し合いをとらえよう		●	●	●
		伝え方の工夫を学ぼう	●	●	●	●
課題作文を書こう						
★聞き取り問題						
別の出題傾向	大問数	4	4	4	4	
	小問数	25	24	33	37	
	記号解答	22	14	24	26	
	記述式解答（漢字の読み書きも含む）	3	10	9	11	

★新研究で出題した茨城県の入試問題(令和7年度)

- p. 61 説明的文章
● p. 135 (7) 敬語 ● p. 147 大問1 (2) 推敲